

# 公共建築の日フェスティバル2015 イベントの記録

## (フォトコンテスト審査結果)

「たてもの・街並み・ひと」をテーマに公共建築を舞台に人々が集う写真、緑と溶け合う公共建築の写真など、自由な角度から撮った写真を募集したところ、道内をはじめ、北海道旅行で訪れた方々からも作品の応募がありました。全113作品の中から、今年度の入賞作品を審査しました。

### ■フォトコンテスト審査

開催日 : 平成27年10月15日(木)

開催場所 : 札幌第1合同庁舎 10階会議室にて

審査員 :	(有)フォート・アクト 代表取締役	佐藤 雅英
	国土交通省北海道開発局 営繕部長	清水 侯二
	北海道建設部建築局 計画管理課長	小谷 修
	札幌市都市局建築部 建築保全課長	高鶴 学



↑ 一枚一枚確認し、作品を絞っていき、最後に10作品の入賞作品が決定しました。

★★★グランプリ★★★



タイトル 「霧の中」  
撮影場所 札幌芸術の森美術館

札幌市 掛村 一憲

■ 審査委員講評

森の中にある美術館の池に写り込んだ霧と人影が幻想的雰囲気を感じさせる。夕方この時間帯を選んだことが大成功です。美術館に行ってみたくなる作品です。

★★ 準グランプリ ★★

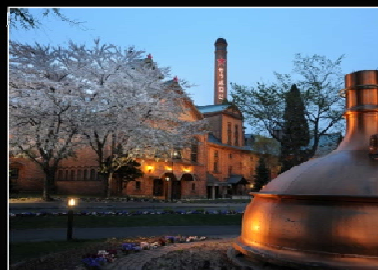


タイトル  
色づき始めた「ボクのおうち」  
撮影場所 札幌円山動物園  
(熱帯動物館)

札幌市  
齊藤 玲子

■ 審査委員講評

画面中央下にカバが出てきた瞬間を捉えた構図と建物の色彩が良い。なんとも愛らしい一枚。子供も大人も楽しめる作品となった。

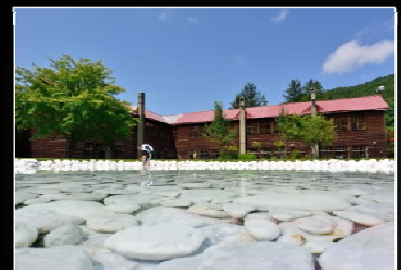


タイトル 「ビール園 桜咲く頃」  
撮影場所 札幌ビール博物館

札幌市  
平野 眞佐男

■ 審査委員講評

夜桜のビール園。手前にポットスチールを入れたことでより遠近感が出た。桜と古い建物、全体のバランスがとても良い作品になった。



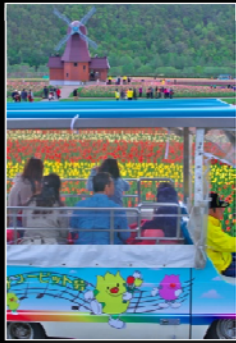
タイトル 「晴れた日に」  
撮影場所 美唄市  
アルテピアッツァ美唄

札幌市  
山内 崇司

■ 審査委員講評

安田侃さんの作品を展示した野外美術館。空が水に写り込むのを上手く取り除いた技術はすばらしい。水の中の石、全体の構図とも気持ちのいい作品となった。

★ 佳作 ★



タイトル「いろどり巡り」  
撮影場所 上湧別  
ちゅーりっぷ公園・風車展望台

札幌市  
佐々木 郁太郎



タイトル「冬のライトアップ」  
撮影場所 札幌ビール博物館

札幌市  
山内 佳子



タイトル「樹氷の朝」  
撮影場所 美瑛町  
美馬牛小学校

上川郡東神楽町  
斉藤 宏和

■ 審査委員講評

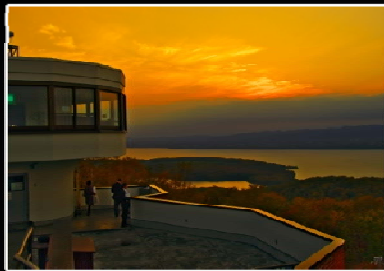
風車と人々を乗せた車を高めのアングルから狙った視点がとても良い。もう少しチューリップと全体が広く入るともっと良い作品になったと思う。

■ 審査委員講評

ライトアップされた明治の古い建物と人間の関係がロマンチックに表現されとても良い雰囲気になっている。もう少し前に出るか、レンズを替えることで全体の空間を整理出来たと思います。

■ 審査委員講評

柔らかい早朝の光の中、見る人を優しい心にさせる気持ちの良い作品になった。画面の下、雪の面積がもう少し入るとより安定感が出たと思います。



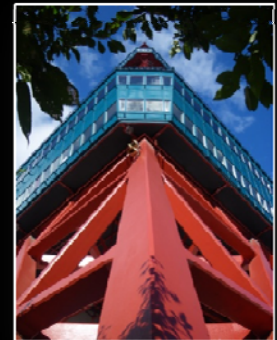
タイトル「絶景の天都山夕景」  
撮影場所 天都山展望台

長野県茅野市  
佐川 隆博



タイトル「燃ゆる灯台」  
撮影場所 室蘭大黒島灯台

室蘭市  
田村 謙次



タイトル「威風堂々」  
撮影場所 札幌テレビ塔

札幌市  
今野 久恵

■ 審査委員講評

道内を旅行中の写真と思います。このような大自然に恵まれた北海道の魅力を堪能されたことと思います。展望台と夕日のバランスがとても良い。

■ 審査委員講評

灯台をダイナミックに望遠レンズで捉えた力作。オレンジ色に滲んだ感じも良い。大黒島をもう少し入れることで島と灯台の関係が見えてくると思う。

■ 審査委員講評

テレビ塔を下からシンメトリーに捉えた。このアングルは建築写真としても新発見です。出来れば、大通り公園という場所柄、人々とのふれあい等が表現できれば尚、良いかと思う。

■ 全体講評 ■

第13回を迎えた「公共建築月間フォトコンテスト」は応募点数113点と多くの参加が有り撮影地も全道的に広がりこのコンテストが写真愛好家に広く認知されてきたことを感じる。内容的にも年々レベルが高くなってきたのが喜ばしいかぎりです。今後は建築と人間の営みなど人々との関係性ある写真等に期待したい。